

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型事業所ルアナ御幸町		
○保護者評価実施期間	R6年11月18日		～ R6年12月7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21 (回答者数)	20
○従業者評価実施期間	R6年12月1日		～ R6年12月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9 (回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	R7年1月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	建物内に学童クラブがあることで定期的に交流を図ることが出来ている	日常の活動や夏休みなど学童クラブの子ども達と交流し、お兄さんお姉さんと遊んでもらっている。医療的ケア児との交流では、学童クラブの子ども達にも医療的ケアが必要な子ども達について説明し、理解を得るようにしている。	今後も交流する機会を積極的に図り、互いに良い刺激になるよう意識して活動を行っていく。
2	職員間でのコミュニケーションがしっかり図れており、研修の機会も多く、健康的かつ資質の向上が図れる職場づくりが出来ている。	朝のミーティング以外でも、時間を見つけてとにかく情報共有をしている。 活動プログラムについてもみんなで話し合いながら画一的にならないよう工夫して組み立てることを意識している。	引き続き積極的に研修に参加しより良い療育の提供ができるよう質の向上に努めるとともに、職員間のコミュニケーション、保護者とのコミュニケーションにもさらに力を入れていきたい。
3	ICTを活用して、活動の様子が写真と記録などを通してわかりやすく保護者に伝えることが出来ている。 24時間いつでも保護者が施設に連絡をとれる機能も活用し、気になることなどがあれば気軽に連絡がとれる体制が整っている。	日々の活動については毎日、5領域に分け、何を目的に、どのような手段で行っているかをわかりやすく伝えるようにしている。 保護者からの相談についても機能を活用し出来るだけタイムリーに相談に乗れるよう心がけている。	ICTを上手く活用し、より保護者が安心して療育を利用できるような機能の充実を図っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者の交流の場が少ない	コロナの影響もあり、保護者の交流する機会の確保や保護者の交流の場に参加したいという意識が少ないことが上げられる。	今年はルアナ祭り等を企画し保護者の交流を図ったが、実際に交流している姿をみるとやはり交流の場があった方が良いと感じたので、次年度はペアトレなどの企画もしていきたい。
2	送迎の範囲が決まっているため、保護者の希望に応えられないエリアもある。	医療的ケア児の受け入れ施設が少ないため、利用児童が広範囲になり、保護者の協力なしには受け入れが難しい。	現状医療的ケア児は市をまたいで利用している児童も多いため、保護者の協力なしには難しい。ただ、毎年児童の入れ替わりはあるので状況に応じて送迎についても柔軟性を持って対応していきたい。
3	既存の建物をリフォームして使用しているので、構造的に使い勝手が悪い部分がある。	既存の建物なので、どうしても療育を考えた時に上手くいかない部分は生じてしまう。	簡単なリフォームをしたり、パーティションや手作りの仕切りなどを作って少しでも児童が安全に心地よく利用できるような工夫しているが、保護者の意見を踏まえて引き続き空間の使い方を工夫していきたい。